

学校評価アンケートについて(報告)

1月に実施したアクションプランなどをもとにした学校評価アンケートの結果ならびに、今後の取り組みについて報告します。

項目ごとに表組みによる集計と判定について、考察、今後の取り組みを記載しています。

(凡例) 選択肢 A:いつもしている B:だいたいしている C:あまりしていない D:まったくしていない

判定 ◎よく達成されている ○おおむね達成されている △不十分である ×取り組みの見直し

項目	内容	A	B	C	D	判定
1	・子どもは、家でよく本を読んでいます。	15.9%	33.3%	43.5%	7.2%	△
2	・子どもは、分からないことがあったら本などで進んで調べています。	5.8%	26.1%	53.6%	14.5%	×
3	・親子で本を読む時間をつくるようにしています。	4.3%	10.1%	49.3%	36.2%	×

◎1学期と比べて、数値はわずかに向上しました。
○子どもたちが本に親しみ、本から多くの知恵や経験を得るには、読書の習慣が身に付くことが大切です。学校と家庭が連携協力して、読書の習慣化に取り組みましょう。

- ・子どもたちは本を読むことがとても好きです。各学年で設定した読書の目標を達成した子どもたちが多く見られます。しかし、家庭での読書量が少ない子どももまだまだ多いようです。
- ・朝の読書では熱心に本を読んでいます。低学年での読み聞かせの時間も熱心に本の世界を味わっています。また、本や図書資料などを使って学習に必要な情報を調べる機会も多くなっています。
- ・子どもに魅力のある本をよく選んで購入し、効果的に紹介するように努めてきましたが、なかなか習慣付いたと言える数値には到達していません。

(今後の取り組み)

- ・読書の習慣化のために、家庭への啓発を進めます。親子読書だけでなく、祖父母や兄弟そろっての読書も含めた家族での読書「家読(うちどく)」として広め、実践していきます。
- ・本を読むこと、本で調べることの楽しさを子どもたちが感じられるよう図書室や蔵書、書架の整備を進めます。子どもたちや教員、保護者や家族からのお薦めの本のコーナーを作り、本の楽しさを分かち合えるような取り組みを進めます。

項目	内容	A	B	C	D	判定
1	・子どもは、「おはよう」「おやすみ」のあいさつをしています。	69.6%	26.1%	4.3%	0.0%	◎
2	・子どもは、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしています。	58.0%	30.4%	10.1%	1.4%	○
3	・子どもは、あいさつをするときは大きな声で言っています。	30.4%	52.2%	17.4%	0.0%	○
4	・子どもは、自分から進んであいさつをしています。	33.3%	46.4%	20.3%	0.0%	△
5	・お客さんにあいさつをしています。	17.4%	66.7%	14.5%	1.4%	○
6	・子どもは、登下校の途中で出会った人にあいさつをしています。	29.4%	51.5%	17.6%	1.5%	○
7	・子どもは、地域行事に参加したときに人にあいさつをしています。	18.8%	55.1%	23.2%	2.9%	○
8	・子どもは、近所の人に進んであいさつをしています。	23.2%	49.3%	23.2%	4.3%	○

◎全体に数字が上向いています。減少したものも横ばいに近い数字になっています。子どもたちへのアンケートでも傾向はよく似ています。
○学校や家庭、地域での呼びかけであいさつに対する意識は高まっていると考えられます。

- ・「おはよう」「おやすみ」のあいさつ、食前食後のあいさつなどがおおむね定着しているようですが、昨年度のデータと比較しても大きな変化がなく、固定化しているようです。
- ・児童会でのボランティアの呼びかけに参加してあいさつ運動に加わるなど、積極的にあいさつを進める動きがあり、子どもたちのあいさつへの意識の高まりを感じます。ただ、朝、児童玄関で「おはよう」とあいさつすることだけで、あいさつをしていると考えている傾向があります。
- ・自分から進んであいさつをするという子どもが他の項目と比較して低く出ています。あいさつをされれば必ず返しますが、自分からあいさつを言い出せない子もいるようです。
- ・地域や近所の方へのあいさつは、1学期よりは向上しましたが、昨年とあまり変わらない傾向でした。桜井校区連携のあいさつ運動や防犯パトロール隊や交通指導のみなさんや、地域の行事で積極的にあいさつできるようはたらきかけます。

→前ページよりつづく
(今後の取り組み)

- ・あいさつ運動を継続して行います。
- ・朝のあいさつ運動ばかりでなく、日常的にあいさつや会釈ができるよう、教室に入るとき、下校時、友達とすれ違ったときのあいさつや声かけ、会釈、集会やランチルームで全体にアナウンスするときにあいさつから話を始めるなど、生活の中にあいさつが自然に取り入れられるよう呼びかけをします。
- ・あいさつをするとき、例えば、「〇〇さん、おはよう」というように、しっかりと声をかけたり、かけられたりが意識できるような習慣付けを行っていきます。

運動の日常化						
1	・子どもは、からだを動かすことが好きです。	64.2%	28.4%	7.5%	0.0%	◎
2	・子どもは、外で運動したり、遊んだりしています。	44.8%	29.9%	25.4%	0.0%	△
3	・子どもは、好き嫌いなく食事をします。	32.8%	40.3%	23.9%	3.0%	○

○アンケートの実施が積雪期だったため、戸外の運動は数値が低く出たようです。
○数値が多少動いていますが冬に向かう時期で活動場所が制限されていることを考慮したうえで、判定しました。
○もっともっと戸外の風や光といっしょに体を動かして欲しいと思います。

- ・子どもたちの多くは、体を動かすことが好きです。休み時間にはなわとびをしたり、いくつかの学年が混じり合ってボール運動などをして遊んでいる姿がよく見られます。
- ・体を動かすことにあまり積極的でない子どもも中には見られますが、日常的な運動の習慣を促す「みんなでチャレンジ3015」の達成率はほぼ100パーセントであり、どの子もある程度の運動を継続していると思われます。
- ・食事の好き嫌いについては、給食では嫌いなものがあっても少しでも食べるように努力している子どもが多く、食べ終わりが遅くなる子どもも少なくなってきました。しかし、家庭では、「好き嫌いがある」と感じておられる方も増えているようです。

(今後の取り組み)

- ・子どもたちが、日常的に運動に親しめるような環境を整えます。いつでも自由に力試しをしたり、遊びを通して自然に体力づくりができるような活動を紹介したりして、体を動かすことが楽しいと思えるような環境づくりに努めます。
- ・「みんなでチャレンジ3015」について、2回目、3回目と取り組みを続けるように声かけをしたり、運動の記録を記入する時間の確保に努めるなど、自分の体力づくりの歩みを振り返ったりできるようにしていきます。
- ・食味だけでなく、食材や栄養、調理の工夫など、食に関する話を話かけながら、食事を正しく健康的に摂ることの大切さを日頃から伝えていきたいと思えます。

学習の様子						
1	・子どもは、家で漢字や計算練習に取り組んでいます。	23.9%	49.3%	23.9%	3.0%	○
2	・子どもは、宿題を忘れずにしています。	62.7%	31.3%	4.5%	1.5%	◎
3	・子どもは、家で時間を決めて勉強をしています。 (目安の時間 10分×学年)	16.4%	40.3%	40.3%	3.0%	△
4	・子どもは、わからないことがあったら、自分で調べたり、質問したりしています。	22.4%	46.3%	25.4%	6.0%	△

○漢字や計算練習については少しだけ数値がよい傾向に上がりました。
○子どもたちは大変まじめに宿題に取り組んでいます。

- ・漢字や計算練習については、各学年で取り組んだ「自主学習」などから取り組みがあり、少しずつ向上しているようです。漢字や計算、理科や社会のまとめや復習など自分で目標を決めて学習する子どもが1学期より増えてきました。
- ・積極的に、時間を決めて勉強している子どもは増えています。子どもたち保護者のアンケートの数字に大きく差があります。子どもたちはしっかりとやっているつもりでも、目安の時間には届いていないようです。学習内容や方法など、子どもたちの様子を判断して、意欲のある子が十分に組み入れるように工夫する必要があります。

(今後の取り組み)

- ・今後も、10分×学年の学習時間を意識し、自分で目標を決め家庭学習に取り組んだり、疑問に思ったところを自分で調べたり質問したりできるように、一人一人へのはたらきかけや個別指導に取り組んでいきます。

前沢小学校の教育活動の評価については、いくつかのアンケートの結果や学校内の教育事業評価をふまえて、3月に開催される学校評議員会で報告します。そこで、学校評議員などの意見をいただき、学校評価報告としてとりまとめ、平成24年度の教育計画・教育活動に反映する予定となっています。一部は、前沢小学校ウェブサイトで開催します。